

第4回 運営委員会だより

令和 5 年 3 月 2 3 日
小平第三小学校 P T A
会 長 青木 佑一

令和5年2月14日（火） 10:00～12:00 出席者：54名 於：家庭科室

1. 青木会長あいさつ

今年度、最後の運営委員会を迎えられることができ、皆さまに感謝申し上げます。
この一年を振り返り、いくつかの反省点と、これからも大事にしたい考えを
“ボランティア”という言葉を通して皆さまにお伝えしたいと思います。



まず1つめの反省点は、運営委員会をよい時間にし切れなかったことです。
私はこの一年「協議事項（ものごとを話し合っ決めていくこと）を大事にしたい」と進めてきました。
そして、本部から皆さまへいくつか「提案」を協議事項に挙げました。その結果、話がまとまらずなかなか決議
できませんでした。そのことについて、貴重なアドバイスもいただきました。
私自身は、運営委員会を“より意味あるものにする”を来年のテーマとしたいと思っています。

もう1つは「くじ引き」です。「くじ引き」についてPTAアンケートをし、82回答をいただきました。その結果
「このままでいい」46% 「やめるべき」26% 「わからない」28%でした。その理由をみると「それ以外に
よい方法がない」「公平だから」という声です。これは要は、PTAという「おやくめ」を誰が負担するか？という
わりとネガティブな方向性を感じます。

PTAがこれからも「おやくめ」でくじ引きで決まっていく活動なのか？それとも、やりがいをもって関われる活
動にしていけるか？今後も皆さまと考えていきたいです。

最後に、ボランティアの話です。PTAはボランティアです。

ボランティアという言葉の語源は、ラテン語のvoloウォロ「喜んで～をする」という動詞です。このウォロとい
う言葉に命令形が存在しません。そこから「自発性」という言葉が出てきます。さらに、自分がやりたいという気
持ちからスタートしているので、「無償性」という言葉が立ち現れてきます。このボランティアという言葉の一番
根っこにあるのは「自発的にする」という言葉です。

ウォロという言葉には親戚のような2つの言葉があります。1つは、maloマロ。もう1つは、noloノロ。マロは
「仕方がないけどやる」という意味で、ノロは「嫌々やる」です。このマロとノロには命令形が存在すると聞いて
います。

ウォロと、マロやノロとを分けるのが、“納得・共感”です。納得・共感しているからこそ人は動き、物事が動き
ます。

先程のくじ引きの話は、「おやくめ」を引き受けるという意味ではマロやノロかもしれません。それ自体き
かけづくりの価値はあると思います。しかし、「自発性」を大事にするPTA活動にしていけるためには、ノロやマロ
から少しでもウォロに近づけていきたいと願っています。

それには、PTAが「子どもや、学校に関わる方にとってよい活動をしている」「ぜひ別の方にも参加してほし
い」と思える、より意味のあるもの楽しいものに今後していけるにかかっています。

来年関わっていただける方々、本部役員やクラス委員、同好会や地域の皆さまと一緒に1つ1つ課題を解決して
活動の魅力化や自発性を大事にするPTA活動へ取り組んでいきたいです。



花いっぱいボランティアさんが育ててくれた児童玄関前花壇



2. 木田校長あいさつ 所用のため欠席

3. 西浦副校長あいさつ

日ごろより本校の教育活動にご支援とご協力をいただきありがとうございます。

早いもので、3学期の授業日数も残りわずかとなりました。学校では、卒業式に向けて練習や6年生を送る会の準備にとりかかり始めたところです。政府発表によると、3月13日から屋内屋外を問わずマスクの着用は個人の判断に委ねる方針が決定されるなど、コロナ禍の夜明けが近いのかな、そんな気がしています。そういう状況の中、今年度の卒業式は、5年生児童の参列と来賓を招いての実施とすることになりました。

4年生の社会科見学では、浅草・スカイツリーに行ってきました。あいにくの雨でしたが、浅草寺ではグループごとに分かれて、現地ガイドの話をよく聞きながら熱心に見学する児童の姿がありました。また、これまで移動教室は6年生のみ行っていましたが、来年度は5年生も移動教室を実施することになりました。移動教室に向けて「自分のことは自分でする」、「仲間と協力する」、この2つの力を付けるよい機会となりました。

学校教育活動も時代や状況に合わせて変化していきますが、いつの時代でも保護者や地域の方との連携・協力が欠かせません。これからもPTAの皆さまと共に歩んでいきたいと思っておりますので、引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に寄付の紹介があります。PTA和太鼓同好会 回太鼓より7万円相当の和太鼓の寄付がありましたので、この場を借りてお礼申し上げます。和太鼓同好会の皆さま、ありがとうございました。

4. 選考委員会より

次年度本部役員立候補者紹介

5. 報告事項

PTA本部、及び各委員会、同好会より主な活動と予定

6. 連絡事項

(1) PTA本部より

・ベルマークについて

今年度のベルマーク集計作業は、図書ボランティアの皆さまに引き受けていただいておりますが、本部のPTA改革に向けてのアンケートを受け、代表より本部改革案に同意できないとの理由で辞退の申し出がありました。

この申し出に伴い、本部では、ベルマーク同好会へ戻すことも検討しましたが、今後の活動は、特定の人に関わるのではなく、誰でもやりたい時に自由に参加できるようにしたいと考えました。そのため、来年度は全保護者対象のボランティア募集へ変更を考えています。それに伴い、本部内では、ボランティア担当の副会長を設ける予定です。

今年度、図書ボランティアの皆さまが集計したベルマークは、ほかのものと合わせ財団へ郵送いたします。

図書ボランティアの皆さまには、とても細かな作業を担っていただき大変だったかと思います。一年間ご協力ありがとうございました。

・総会について

令和5年度PTA定期総会は、4月25日(火) 15時～15時45分 本校体育館にて予定しています。

総会資料は事前に配布します。これまで各委員長・同好会代表の皆さまが読み上げていた活動報告などは副会長が担当します。何か補足などありましたら、3月中に副会長の南雲までご連絡ください。

・総会当日の服装について

例年、本部役員・各委員長・各同好会代表の方々に必ずスーツの着用をお願いしておりましたが、先生方も含め、スーツの着用は任意とします。

・小P連について

第3回運営委員会の協議事項として挙げた小P連退会ですが、本部で再検討した結果、退会しないこととしました。近頃は事務局改革の流れもあり、今後、有志の方が構成をし、事務対応するため理事校のみになるということです。会費も下がるのではないかと思います。

・PTA会費自動払込について

第3回運営委員会後に、本部定例会で議論し、12月に皆さまにメールでご報告をした後、1月にPTA会費自動引落についてのお手紙を配布いたしました。

(2) P T A本部会計より

・令和5年度会計予算案について

収入の部

会費の項目の世帯数は、2023年1月末時点のもので、算出しています。

支出の部

花いっぱいボランティアの活動費は、現時点で正式な同好会ではないため、今年度と同様、令和5年度の運営委員会で審議を行い活動費の支出をするため、項目には記載がありません。そのほかは、例年通り計上しています。

また、三小学区内で戸建て販売も多くあり、3月の正式な予算確定までの間に世帯数が増える可能性があります。

7. 協議事項

(1) P T A本部より

★卒業対策委員会について（提案③～⑧の内容に関しては、ブログに掲載している協議事項をご覧ください。）

今回の協議事項作成にあたり、本年度の卒業対策委員・6年生の学級代表の皆さまに共有し、ご意見もいただきました。

協議結果

提案①卒業対策委員会のファイルは学級代表委員長が管理する。

提案②6年学級代表に卒業生を祝うための活動費として、1万円×クラス数を計上する。

※予算については、これまでは「卒業対策費」として3万円を計上していたが、児童数増加や物価高騰を受け、1万円×クラス数とした。

以上①②の提案が、賛成多数で可決されました。

提案③～⑧までは、さまざまなご意見をいただき、本日決議を取ることができませんでした。今後の参考に、提案③～⑦までを出席した方へ賛成いただけるかのアンケートを取りました。

提案③ 賛成20名 提案④ 賛成30名 提案⑤ 賛成10名 提案⑥ 賛成35名

提案⑦ 賛成32名 提案⑧に関しては今回はまだ審議に至りませんでした。

～今回いただいたご意見の一部～

- ・卒業を祝う会はやりたい人がほとんどだと思う。
- ・アンケートを取り卒業を祝う会を実施しない場合は、その旨の最終確認をしてほしい。
- ・アンケート実施後の立候補は認めないというのはどうなのか。
- ・ここ何年もアンケート後にやはりやりたいという声が出て混乱してしまっている。
- ・先生方のコサージュのみなら、ボランティアだけで出来るのでは。
- ・6年生のクラス役員決めの際に一緒に募るのはどうか。
- ・クラス委員決めの際に卒対も決めると、役員逃れとして卒対へ立候補してしまう方がいる。
- ・クラス委員と兼務できるが、クラス委員扱いにはしない、など試行的にしてみてもいい。
- ・このまま今回の運営委員会で決めるのは怖い。
- ・試行的に出来るならやってみて、上手くいったら会則を変えたらいいのでは。

これらのご意見を参考に本部と卒対で今後の方針について3月7日に検討会が行われました。

★役員編成について

【議題】令和5年度PTA行事委員と広報委員の選出人数について

第3回運営委員会後に本部で議論した後、12月に全会員に向けた保護者アンケートを行い、それをもとに1月茶話会を開催いたしました。その後、1月31日本部定例会にてCS5名にも参加していただき意見交換を行いました。これまでも各委員会（PTA行事委員長・広報委員長）に聞き取りをし、現場の意見を確認しながら協議事項として意見をまとめました。

本部案のPTA行事委員と広報委員の選出人数に対して、今回の運営委員会では、事前に現PTA行事委員長と広報委員長から協議事項について見解をいただきました。

・PTA行事委員長より

「予算や人数が減るのであれば、その範囲内で出来ることをやればよいと思います。ボランティアを募ったり、やりたい時にやりたい人でやればモチベーション高く楽しくできて良いと思うので、委員の人数が減っても大丈夫かと思えます。選考人数を減らすことで、くじ引きで負担を感じる人が減るのであればこの案に賛成します。」

・広報委員長より

「正副2名、委員10名という人数は、以前は手刷りだったので必要な人数だったのだと思いますが、現在は業者に依頼しています。今年度は全員が関われるようにと全員で作業しました。例年、作業は前半後半に分かれていることを考えると、選考人数が提案のように半数になっても活動可能だと思います。ただし、業者に頼むための専用アプリを委員全員がダウンロードする必要があるが、強要はできないため、困難に感じる方の対応を検討が必要。また、人数が減ることで、お仕事されている方など活動が難しい方もいて、一部の方に負担が出る可能性もある。また、今年度は個人情報流出を防ぐためのデータ削除を前提として、学校側から許可をいただき、スマホでの撮影をしました。まだまだ課題が多数なので今後話し合いが必要だと思います。」

～協議中にいただいたご意見の一部～

- ・とりあえず試行期間としてやってみるのはよいと思うが、数を減らすことで、一年間しっかり業務に携わらなければならなくなるので、子どもの人数分と言われると負担軽減の意味がないように感じる。
- ・出来ない人に強制的にやらせるのではなく、やりたい人がやりたいことをやればよいのでは。
- ・今現在、1子につき1役になっている中、広報と行事委員を学年で2名に減らすことで1子につき1役が軽減ができるようになるという。
- ・病気や仕事などで欠員が出た場合、人数を減らすと1人の負担が増えるのではという懸念はあるが、やってみないと分からないのでとりあえずやってみてもよいのでは。
- ・人数を2名に減らすことには反対。学年単位で立候補出来るのは賛成。
- ・委員人数が減って負担が増え、これまでやっていた行事などが出来なくなると、子どもが可哀そう。
- ・いきなり人数を減らしてしまうのは賛成できない。子どもたちのことを考えるともう少し慎重に進めてほしい。
- ・会長はみんなでやりたくなるような楽しいPTAを目指してと言う割に、活動する人を減らそうとしている。みんなでやりましょうというアピールを本部でもっとしてほしい。
- ・人数を2名ではなく、2名～クラス数にしてはどうか。
- ・1子につき1役やらなければいけないからみんな立候補しているが、それを2名にしてしまうと卒業までやらない人が増えるのでは？ そうなると1人の負担が増えてしまう。負担なく活動出来る方が立候補が出るのでは？
- ・初めはくじ引きなどで嫌々スタートしたとしても、関わる中で友だちが増えたり、学校に関われる楽しさに気付いたりするので、人数を減らすことには賛成できない。
- ・人数を減らすだけではなく、役員2回やったら正副免除などのほかの負担減も考えてもらいたい。

～これらのご意見を踏まえ、本部としての意向（副会長 田野より）～

「クラス役員の選出人数を減らすことで1人の負担は増えるかもしれませんが、ボランティアも集まらないかもしれません。ただ、『かもしれない』で何も変えなければ、この先も10年後もずっと何も変わりません。

私たちは、PTAをなくしたいわけでもなく、子どもたちの活動を狭めたいわけでもありません。しかし、仕事をされている方が増えている中、役員になってもほとんど活動に関われないという方もいます。4名という縛りがあるため、活動できなくてもくじを引かなくてはならないという現状があるからです。

三小のPTA役員は大変という印象が根付いているのも事実です。そういうところを少しずつ改革し、ボランティアとしてでも、できる方ができる時に関われるようにしていきたいと思っています。

この改革を進める上で、懸念されていることはごもっともだと思いますし理解もできます。ただ、そのように懸念されていることが起きないように、試行期間を設け、青木会長と私がもう一年かけて責任を持って関わり、なるべくそのような問題が起きないように努めようと思っています。

時代に合わないPTAを続け、今後もしPTA入会許諾を取らなければならなくなった際、負担が大きいとの理由で会員数が半分になってしまったら影響を受けるのは子どもたちです。そのようにならないための形を作れば、無理に役員をさせられないなら入会してもよいと考えてくれる人が増えるのではないかと考えています。」

上記の話し合いをもとに次の3つの提案が新たに可決されました。

★行事委員・広報委員2名〜クラス数までにする

賛成多数で可決

★各クラスから1名ではなく、学年単位で立候補を募る

賛成多数で可決

★立候補者の人数が定員に満たなかった場合、学級代表同様に、1クラス1名選出するくじ引きを行い、その中からさらに学年で2名になるようにする

賛成多数で可決

試行期間中のPTAクラス委員選出決定事項 (2023年秋ごろ再検討)

○1年生〜5年生

学級代表	各クラス1名
PTA行事委員	立候補の場合：学年2名〜クラス数 くじ引きの場合：学年2名
広報委員	同上
選考委員	各クラス1名

○6年生

学級代表	各クラス1名
PTA行事委員	立候補の場合：学年2名〜クラス数 くじ引きの場合：学年2名
広報委員	同上

今後はボランティア担当の副会長を立て、本部と委員会が協力し合うことで、より負担が減り、参加しやすい委員会活動にしていきたいと思っています。現時点では、会則・細則は改訂せずに試行期間として進めていく方針です。試行のため来秋ごろ、皆さまから評価をいただき、会則・細則を改訂するか否かを検討していきたいと思います。

・本部より活動報告について

各委員会・同好会の活動報告は、今回の運営委員会よりレジュメへ掲載します。次回以降は、運営委員会当日の活動報告読み上げは省き、協議事項などに時間を費やせるようにしていきたいと思っています。花いっぱいボランティアについては、予算を渡しておりますので、第4回運営委員会に代表者が出席し、活動報告をしていただきます。よろしくお願いいたします。

・青木会長より

委員会活動は、基本、各委員で進めていただき、何かご不明点・ご意見がある方はPTAメールアドレス会長宛にメールをください。LINEなどの個別のコミュニケーションはやり取りが困難なので縮小していきたいです。

また、今後は、学校公開や各イベント時など、会員の皆さまとお話する機会を増やしていきたいと思っています。

令和5年度PTA定期総会予定
4月25日(火)15時より
体育館にて

今年度も、PTA活動に
ご理解とご協力ありがとうございました。



児童玄関前 アンズ